



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

2021年度 決算説明会資料

2022年5月12日
株式会社UACJ



発表のポイント

経常利益 **523億円**(YoY +463億円)、Adjusted EBITDA*1 **602億円**(YoY+154億円)
ともに**過去最高を更新**

世界経済が不透明な状況の中、22年度も**増収・棚卸影響前経常利益**で**増益**を見込む

1

■ 2021年度 総括

- ✓ 北米缶材市場を中心としたグローバルで旺盛なアルミ需要を捉え、**過去最高益を達成**
- ✓ 足元の原油価格の上昇によるエネルギーコストの増加、
添加金属価格の上昇による原材料コスト増加の影響を大きく受けるも、対応施策を展開
- ✓ 2021年度の年間配当は、**前年度無配から復配し、過去最高85円/株を実施**

2

■ 構造改革の進捗

- ✓ コロナ影響による自動車材認定遅れ等により、深谷製造所下工程は停止時期を延期
- ✓ 最終年度に向けて、**構造改革効果210億円に目途がついた**

3

■ 2022年度 計画

- ✓ **エネルギーコスト、添加金属価格等が高騰も、販売価格への転嫁と新価格体系への移行を主導**
- ✓ 世界3極を活用した缶材販売の強化、**UWH*2の黒字化、及び構造改革の完遂**を実行

*1 Adjusted EBITDA : EBITDA – 棚卸資産影響

*2 UWH : UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.

外部環境の変化と対応について

外部事業環境の変化に迅速に対応することにより、収益へのインパクトの最小化を図る

外部環境の変化と対応	国内 	TAA(北米) 	UATH(タイ) 
アルミニウム地金価格の上昇	販売価格に転嫁		
エネルギー価格の高騰	販売価格への転嫁を交渉中 (7月から市場価格連動の 価格スキームへ切り替え)	販売価格への転嫁を実施 (市場価格連動の 価格スキームを導入済)	販売価格への転嫁を交渉中
添加金属価格の高騰	市場価格連動の価格スキームを導入		
物流費の上昇	—		販売価格への転嫁を実施 (フォーミュラ制を導入済)

1. 2021年度 通期業績

2. 構造改革の進捗

3. 2022年度 通期業績見通し

4. サステナビリティへの取り組み

5. ご参考データ

1. 2021年度 通期業績



経常利益 523億円(前年度比 +463億円)

■ 数量 : 1,293千トン 前年度比 +180千トン

- UATH*¹(タイ)、TAA *² (米国)の缶材が引き続き増加
- 自動車を中心とした輸送用機械向けは需要回復により、増加

■ 経常利益 : 前年度比 大幅増

◎増益要因

- 国内事業業績改善(構造改革効果含む)
- UATH業績改善
- TAA業績好調継続
- 棚卸資産影響の好転

△減益要因

- エネルギー価格の上昇
- 添加金属価格の上昇
- 海運コストの上昇(UATH)

*1 UATH : UACJ (Thailand) Co., Ltd..

*2 TAA : Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.

通期業績

(単位:億円)

	2020年度 通期 (A)	2021年度 通期 (B)	増 減 (B) - (A)
連結売上高	5,698	7,829	2,132
連結営業利益	111	595	484
棚卸資産影響前 連結経常利益	62	213	151
棚卸資産影響額	△ 2	310	312
連結経常利益	60	523	463
連結当期純利益*	△ 33	321	353
Adjusted EBITDA	447	602	154

セグメント別 売上高・営業利益

(単位:億円)

	2020年度 通期 (A)		2021年度 通期 (B)		増 減 (B) - (A)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	4,778	172	6,975	641	2,197	470
加工品・関連事業	1,651	△ 6	1,648	11	△ 3	17
(調 整 額)	△ 731	△ 54	△ 793	△ 57	△ 62	△ 2
合 計	5,698	111	7,829	595	2,132	484

アルミ板 品種別売上数量

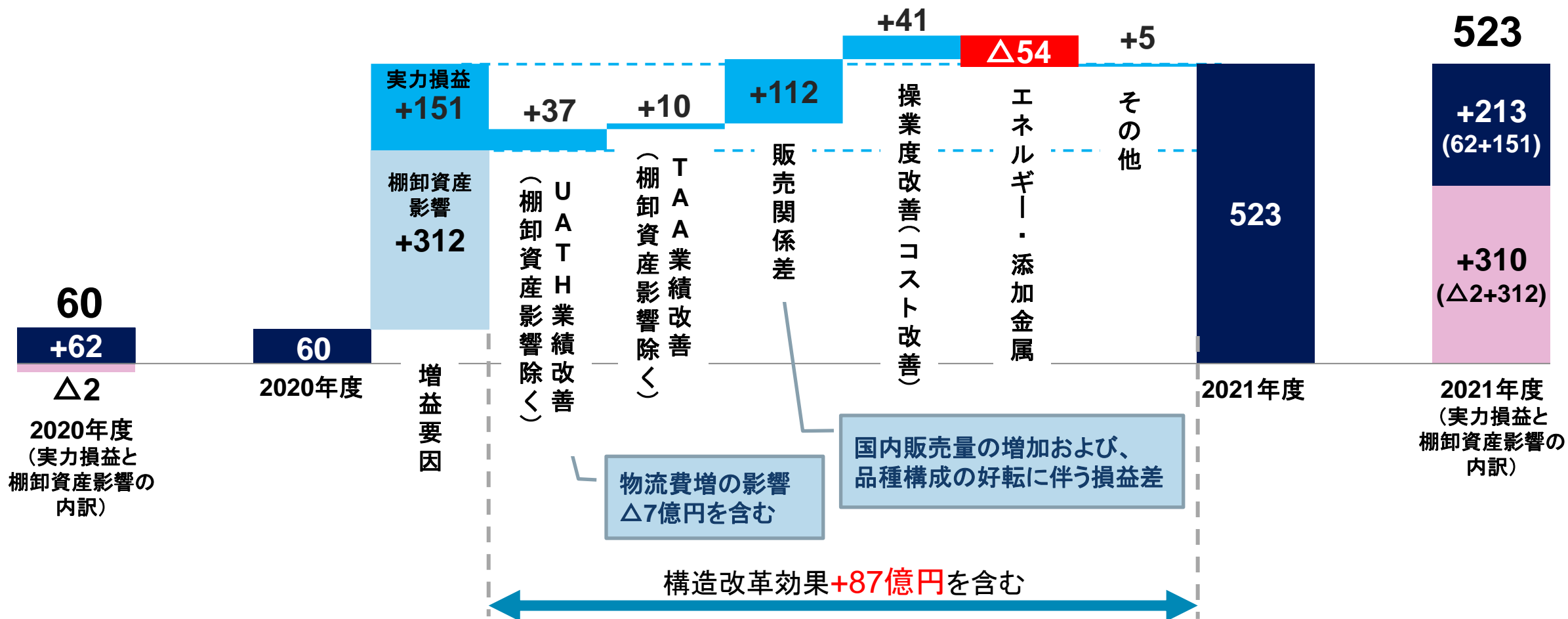
(単位:千トン)

品 種	2020年度 通期 (A)	2021年度 通期 (B)	増 減 (B) - (A)
缶 材	693	816	123
箔 地	52	56	5
I T 材	25	14	△ 10
自動車材	123	138	15
厚 板	42	53	12
その他一般材	180	216	36
合 計	1,113 (国内市場向け 441 海外市場向け 673)	1,293 (国内市場向け 479 海外市場向け 815)	180 (国内市場向け 38 海外市場向け 142)

連結経常損益分析 (2020年度 → 2021年度)

60億円 (2020年度) → 523億円 (2021年度)

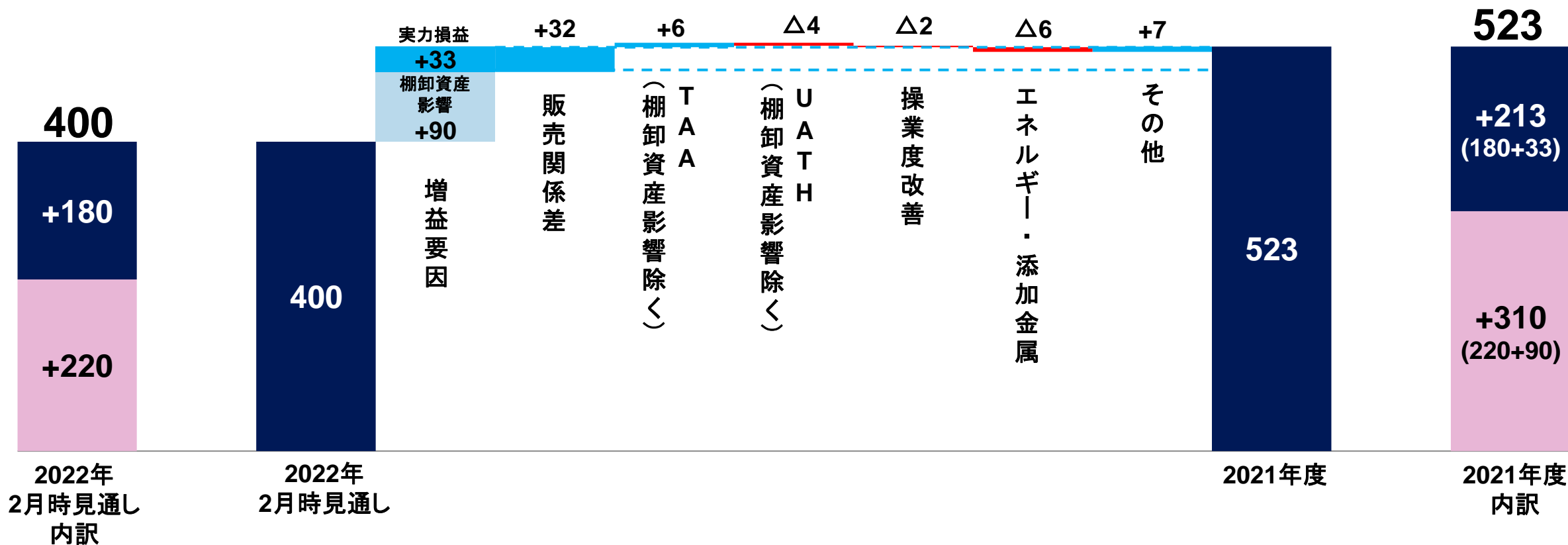
(単位:億円)



連結経常損益分析 (2022年2月時見通し → 2021年度通期)

400億円 (2022年2月時見通し) → 523億円 (2021年度通期)

(単位: 億円)



連結貸借対照表

販売の回復、地金価格の継続的な上昇により棚卸資産等が増加

(単位: 億円)	21/3末 (A)	22/3末 (B)	増減額 (B-A)
現金及び預金	281	143	△ 138
受取手形及び売掛金	1,200	1,227	27
棚卸資産	1,317	2,324	1,007
その他流動資産	148	252	104
有形・無形固定資産	4,003	3,985	△ 18
投資その他の資産	381	356	△ 25
資産合計	7,330	8,287	957
支払手形及び買掛金	1,011	1,186	175
短期借入金	1,100	1,419	319
長期借入金	2,257	1,975	△ 282
その他	996	1,231	235
株主資本合計	1,775	2,090	315
その他包括利益・非支配株主持分	190	386	196
負債及び純資産合計	7,330	8,287	957

アルミ地金等
価格上昇による増加

連結キャッシュフロー計算書

アルミ地金、添加金属等の価格上昇で運転資金が増加したことにより営業CFが減少

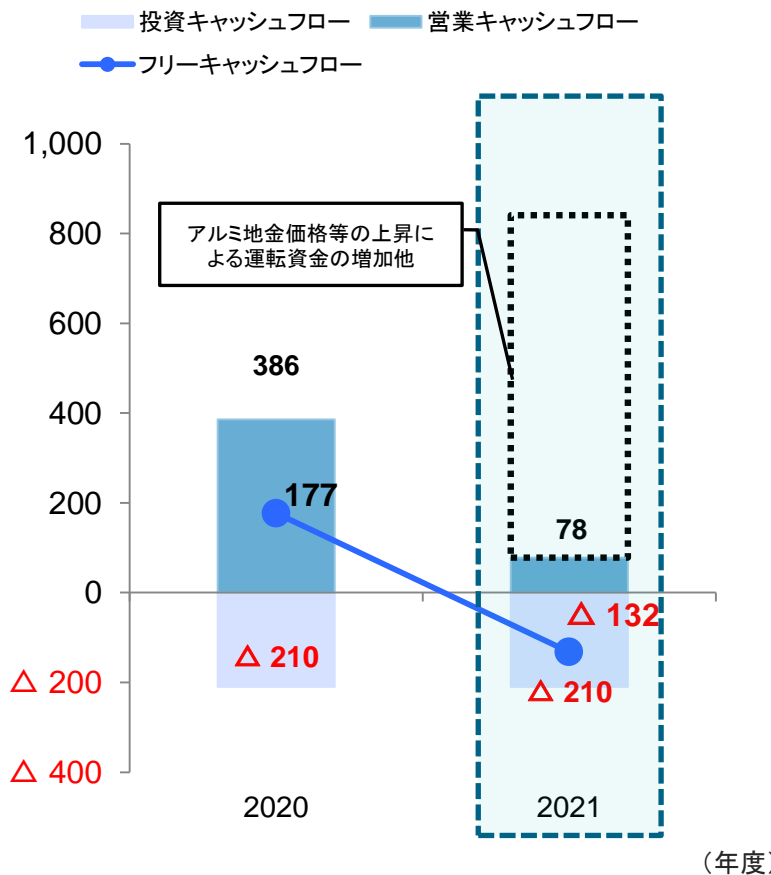
2021年度 連結キャッシュフロー

(単位:億円)

税引前利益	501
減価償却費(のれん含む)	340
アルミ地金価格等の上昇による 運転資金の増加他	△ 763
営業キャッシュフロー計	78
設備投資 他	△ 210
フリーキャッシュフロー	△132
その他財務CF等	29
有利子負債にかかる為替影響	△71
現預金増減(△は増加)	138
有利子負債の増加	37

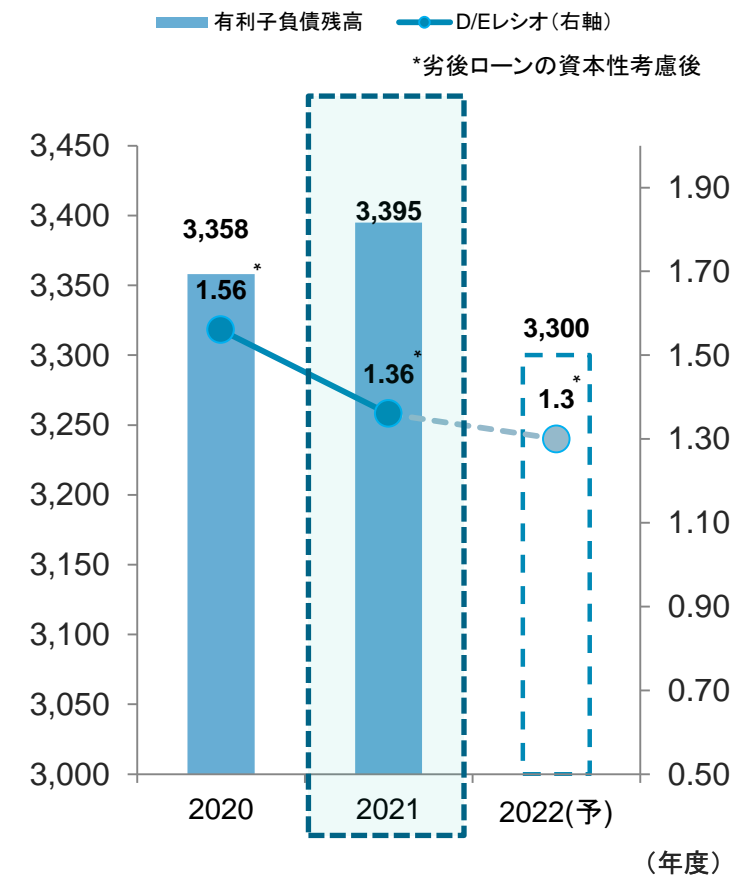
連結キャッシュフロー 推移

(単位:億円)



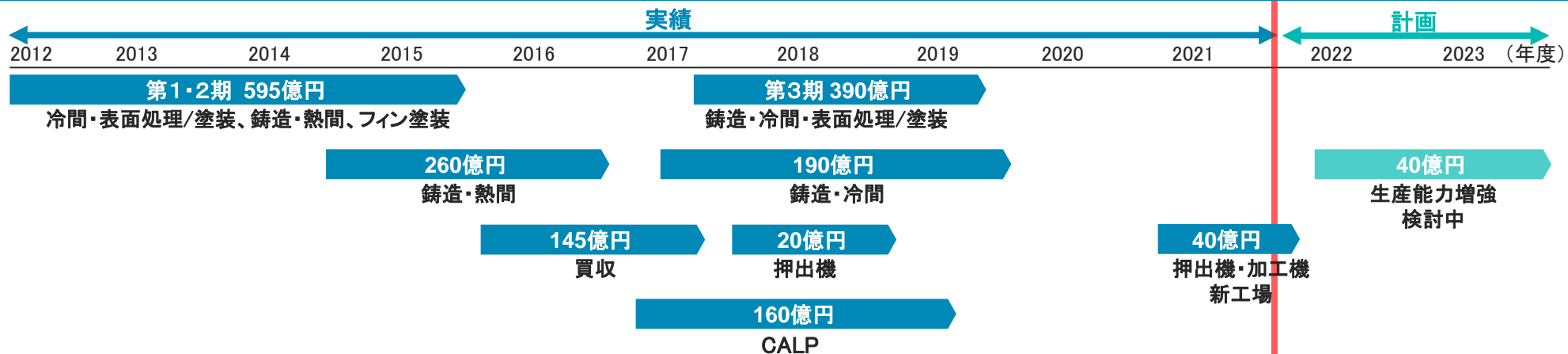
有利子負債残高・D/Eレシオ

(単位:億円)

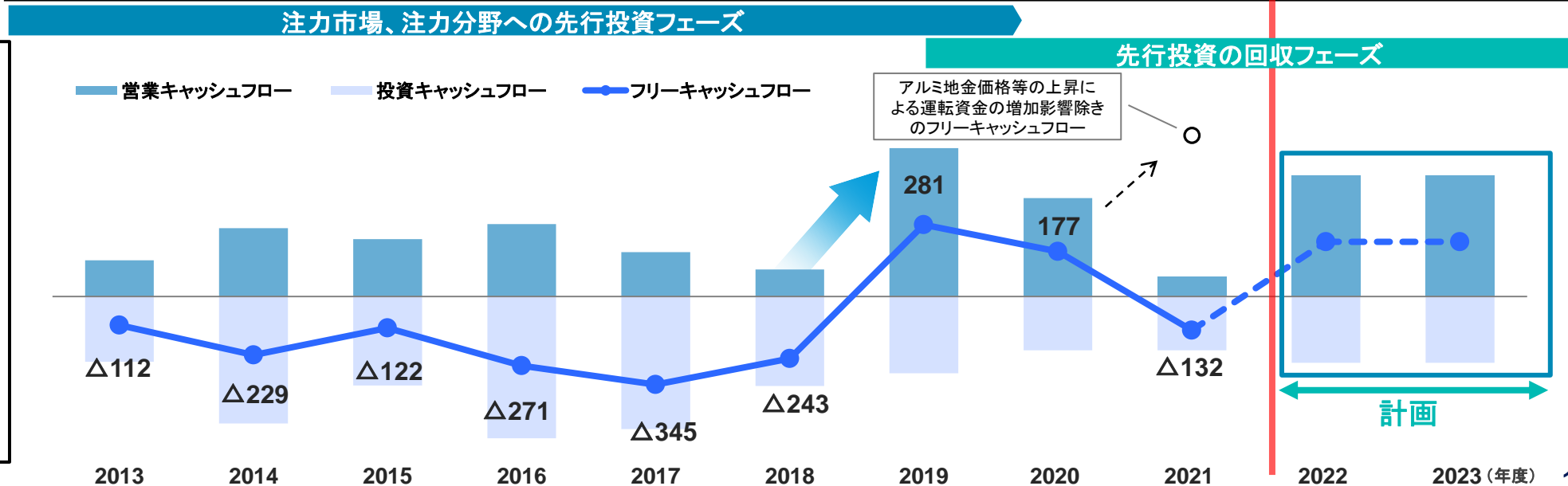


連結キャッシュフロー推移

2019年度より先行投資の回収フェーズに入り投資CFが減少



主な戦略投資／投融资	UATH (タイ)	985億円
	TAA (米)	490億円
	UWH (米)	205億円
	福井	160億円



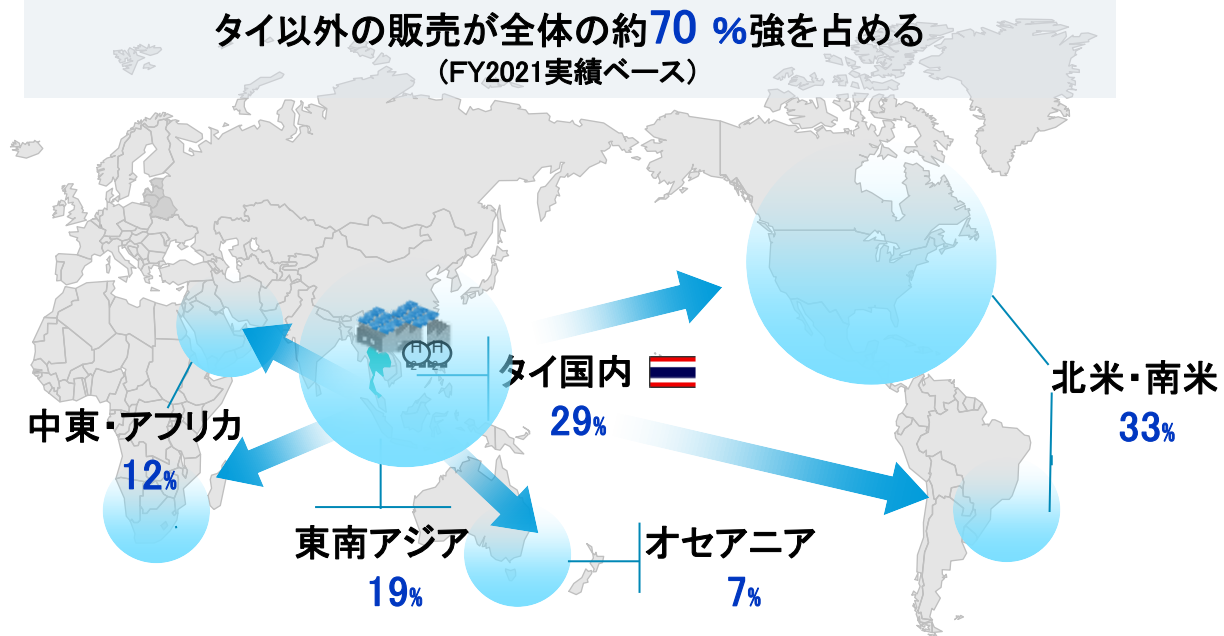
連結キャッシュフロー

2013-2021年度 実績
2022-2023年度 計画

タイ(UATH)の状況 ~2021年度 総括

エネルギーコスト上昇も、旺盛な需要環境を取り込む生産・販売力の確立により、増収増益

販売展開エリアの販売比率(世界25カ国)



通期業績の変動要因と改善への打ち手

- エネルギーコストの高騰
- 海運コストをはじめとした物流コストの高騰
- 添加金属価格の高騰

- 物流コスト、添加金属価格の高騰はフォーミュラ制を導入22年度以降の損益に反映
- 24年度以降の販売契約について顧客と交渉を開始

2021年度 総括

需要 : 缶材、自動車熱交材、エアコンフィン材共に、需要が好調であり需給ひっ迫が続く

販売 : 過去最高の販売量を達成

生産量 : 314千t/年(1~12月)

販売量 : 321千t/年(1~12月)

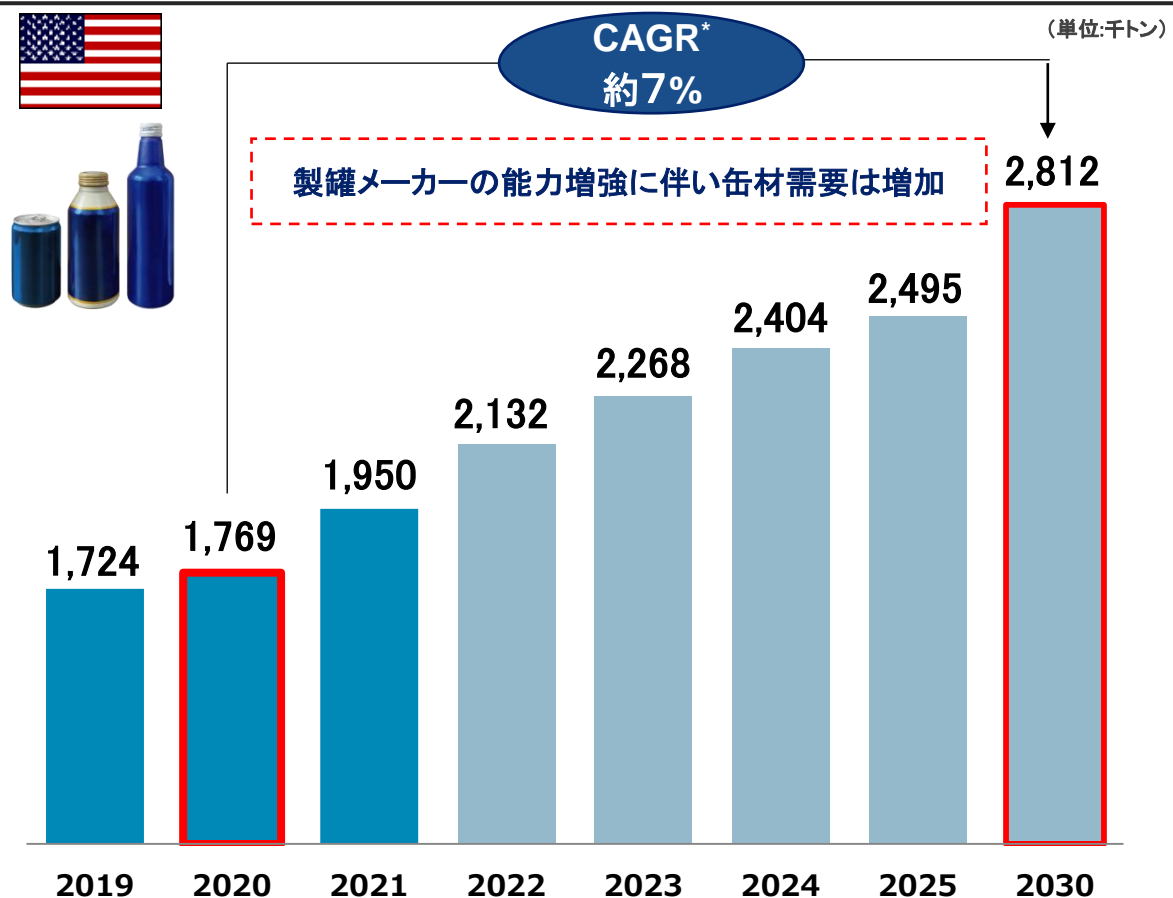
損益 : (単位: 億円)

	20年度	21年度	前年度比
売上高	641	1,413	771
営業利益	△ 30	93	124
経常利益	△ 48	50	99
棚卸資産影響前 経常利益	△ 40	△ 3	37

米国(TAA)の状況 ~2021年度 総括

グローバル3極体制を活かし、旺盛な北米缶需要を取り込み増収増益

米国缶材需要予測推移



出典: 当社調査による

2021年度 総括

- 缶材需要 : 旺盛な需要環境継続
- 販売量 : 約490千t / 年 (国内・UATH出荷分含む)
- 生産能力 : 約450千t / 年体制確立
- 増産対応 : 北米生産拠点の設備増強を検討中

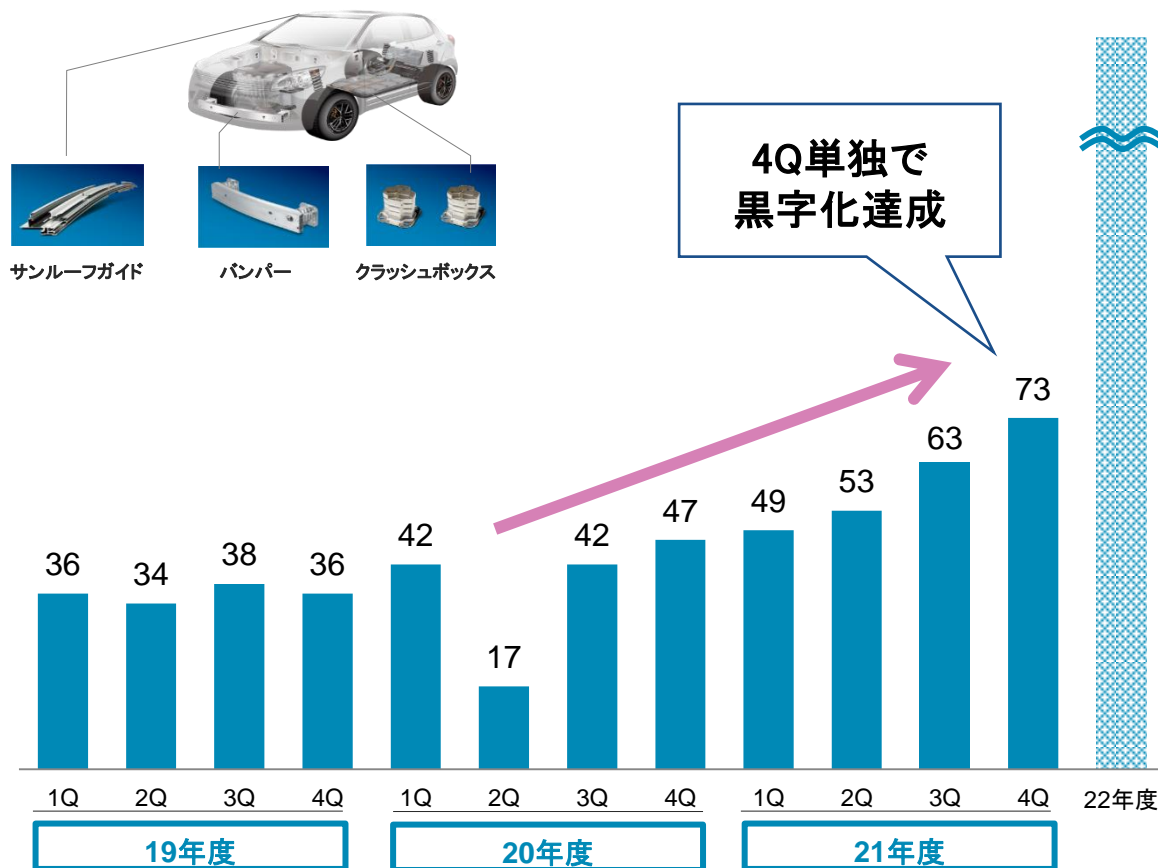
(単位: 億円)

損益	20年度	21年度	前年度比
売上高	1,420	2,372	952
営業利益	130	320	190
経常利益	108	295	187
棚卸資産影響前 経常利益	89	99	10

米国(UWH)の状況 ~2021年度 総括

既存顧客向け販売増、日系大手OEM向けアルミ構造材量産開始により4Q黒字化達成

UWH 売上高推移(単位:億円)



2021年度 総括

需要 : EV市場は拡大傾向も、コロナ影響によるサプライチェーンの混乱及び、半導体不足の影響継続

販売 : 新興EVメーカー向けを中心に販売増加も地金高騰、コロナ影響、半導体不足等の影響を受ける

4Qは既存EVメーカー向け販売増に加え、日系OEM向け22年モデルバンパーの量産開始により黒字化達成

生産体制 : アリゾナ州新工場は稼働準備が整う
顧客の新工場の稼働待ち

(単位:億円)

損益	20年度*1	21年度*2	前年度比
売上高	148	237	89
営業利益	△ 22	△ 15	7
経常利益	△ 25	△ 18	7

*1 20年度...2020年1月~12月

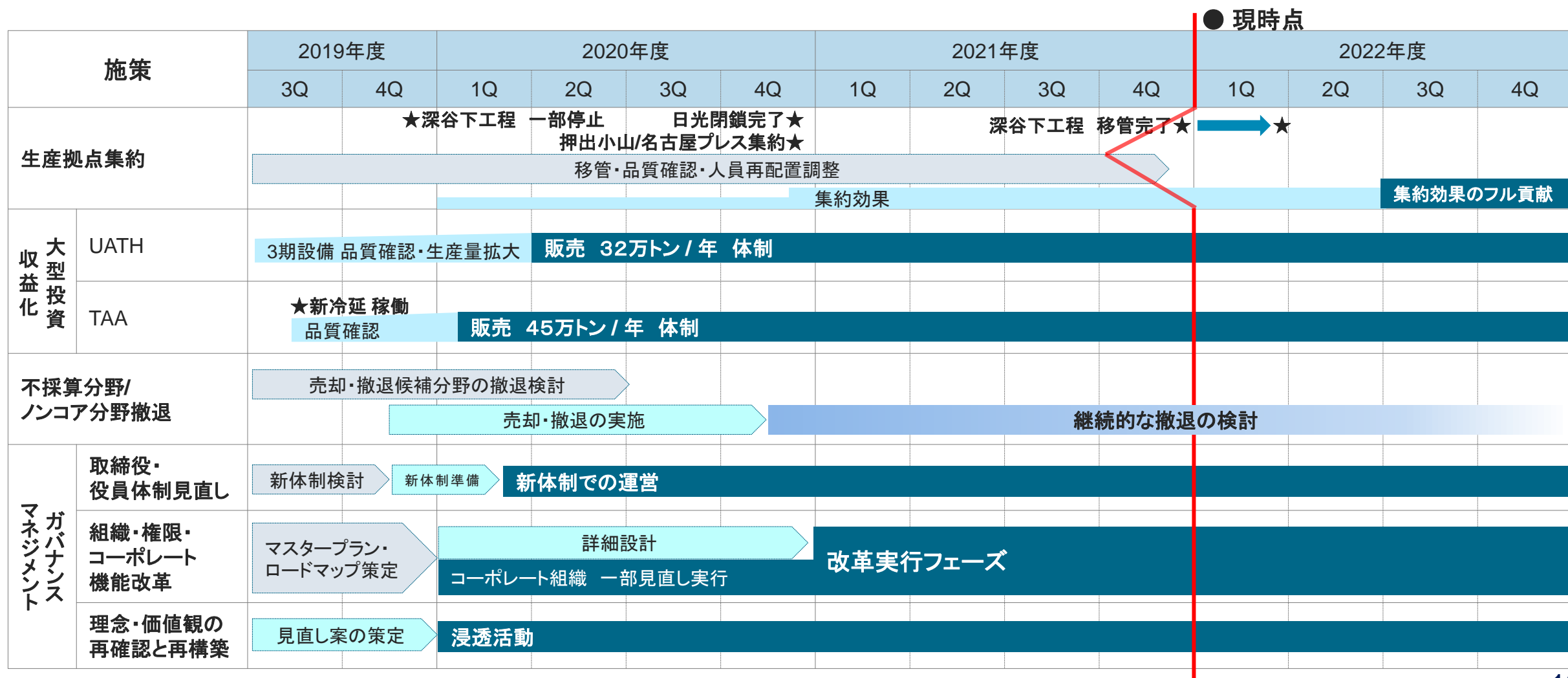
*2 21年度...2021年4月~2022年3月

2. 構造改革の進捗



構造改革の進捗

コロナ禍でのお客様認定遅れ発生により、生産拠点集約遅延も22年度中にキャッチアップ

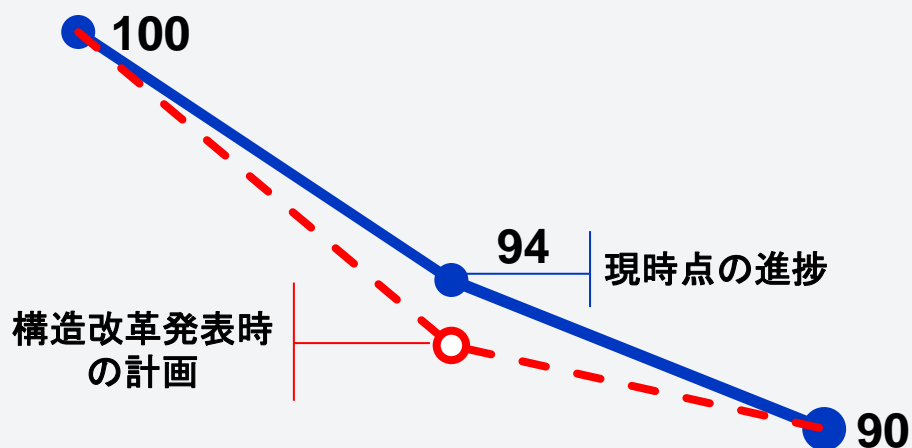


構造改革施策の効果

損益分岐点は今までの構造改革の取り組みにより、着実に下がってきている

国内板事業 損益分岐点の推移

2019年度実績を100とした時の指数



FY2019

FY2021

FY2022

*1 UMP: UACJ Marketing & Processing

*2 タイ押出加工: UACJ Extrusion (Thailand)

*3 中国・押出子会社: 日鋁全綜(天津)精密業有限公司

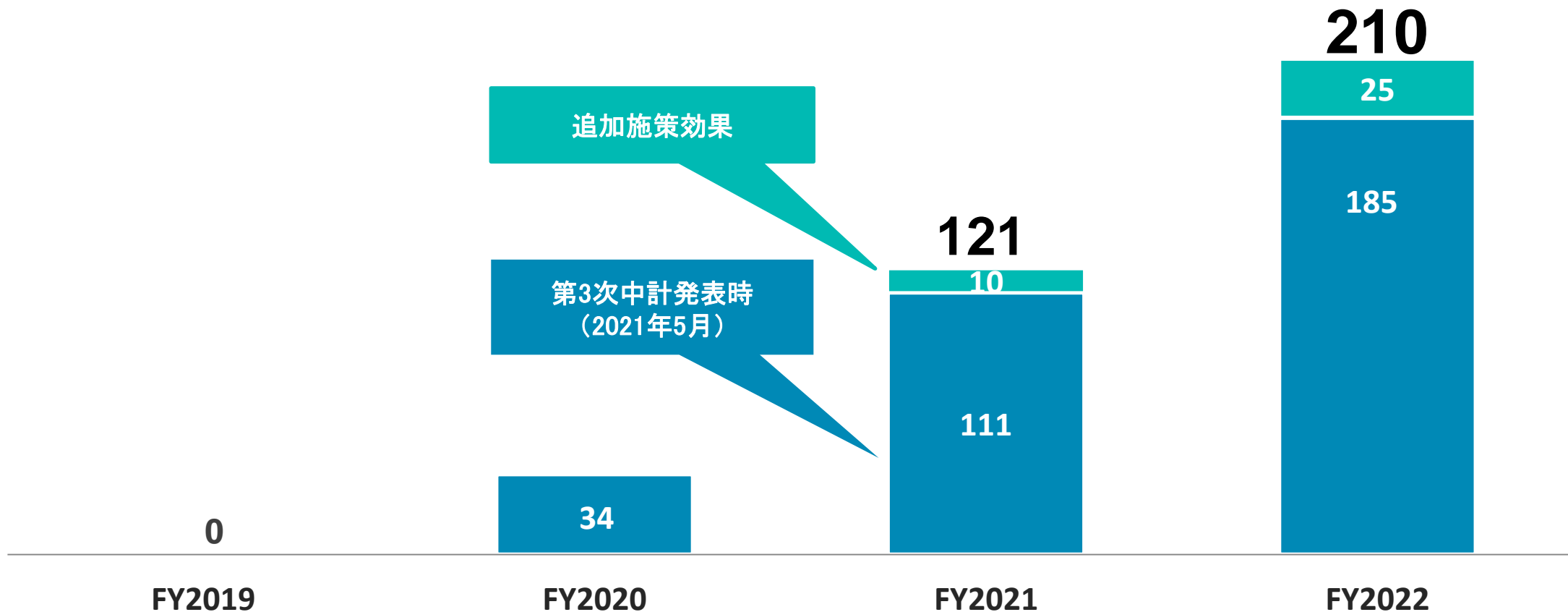
損益分岐点引き下げの取り組み

- **生産拠点の集約化による固定費削減・稼働率向上**
 - ・日光製造所閉鎖→自動車熱交材のUMP*1への集約 → 完了
 - ・名古屋/福井へ集約 → 22年度未完了
 - ・押出小山/名古屋 プレス集約と最適化 → 活動中
- **採算性の向上**
 - ・注力・成長分野への対応 → 活動中(計画通り)
 - ・低採算分野の是正・撤退 → 活動中(大半は実施済)
 - ・価格適正化(追加施策) → 活動中(計画通り)
- **選択と集中**
 - ・タイ押出加工*2 アユタヤ工場閉鎖 → 完了(2022年1月)
 - ・中国・押出子会社*3 出資持分一部譲渡手続き → 完了(2021年12月)
- **最適生産体制の構築**
 - ・自動車材の生産性向上 → 計画通り
 - ・福井新CALP(自動車材仕上げライン)活用による製造所間の品種/工程分担の見直し、最適化 → 22年度未完了
- **間接費用の削減**
 - ・間接人員の削減等 → 計画通り
 - ・IT化投資等による業務プロセスの改善 → 活動中(計画通り)

構造改革施策の推移

生産拠点の集約等により一部遅延発生も、追加施策実施で210億円は達成させる

(単位:億円)



構造改革実施による収益改善効果

ロールマージン改定や製造コストダウン等の施策実施で、210億円達成は必ず実現させる

	構造改革発表時 (2019年9月)	第3次中計発表時 (2021年5月)	2021年度上期 決算発表時 (2021年11月)	最新見通し
国内 : 収益構造改革	+100億円	+67億円	+96億円	+101億円
生産拠点集約	+40億円	+34億円	+23億円	+21億円
最適生産体制・品種構成改善(自動車材・電池材増加)	+50億円	+25億円	+65億円	+70億円
間接費削減(間接人員削減等)	+10億円	+8億円	+8億円	+10億円
海外 : 大型投資収益化	+110億円	+118億円	+114億円	+109億円
UATH 第3期投資稼働開始で、販売量拡大とコスト削減	+70億円	+76億円	+76億円	+70億円
TAA 増産投資完了による販売量増加、価格改定実現	+20億円	+19億円	+19億円	+24億円
UWH 収益性重視の受注、押出機を生かし売上拡大	+20億円	+23億円	+19億円	+15億円
構造改革効果	+210億円	+185億円	+210億円	+210億円

3. 2022年度 通期業績見通し



経営環境認識

全社

ウクライナ情勢や国内外でのコロナ再拡大リスク等があるものの、消費者の環境意識向上に伴ってグローバルで缶材、自動車材を中心としたアルミニウム素材の需要は増加

日本

缶材： コロナ影響により清涼飲料は伸び悩むも、アルコール飲料は堅調。トータルではほぼ前年並み
自動車： 半導体不足による自動車減産の影響はあるものの、アルミ採用車種の増加により、需要は増加
厚板： 半導体製造装置向け需要が引き続き堅調

北米

缶材： 新製品におけるアルミ缶採用率の向上に伴い、需要は増加
自動車部品： コロナ影響、半導体不足の影響を受けるも、EV化需要の高まりにより、需要は増加

アジア

缶材： タイ国内を含む、東南アジアでも旺盛なアルミ缶、缶材需要が追い風となり、需要は増加

2022年度 通期業績

(単位:億円)

	2021年度 通期 (A)	2022年度 通期 (B)	増 減 (B) - (A)
連 結 売 上 高	7,829	9,400	1,571
連 結 営 業 利 益	595	310	△ 285
棚卸資産影響前 連結経常利益	213	235	22
棚卸資産影響額	310	20	△ 290
連 結 経 常 利 益	523	255	△ 268
連 結 当 期 純 利 益	321	150	△ 171
Adjusted EBITDA	602	628	26
年 間 配 当	85円/株	85円/株	0

セグメント別 売上高・営業利益

(単位:億円)

	2021年度 通期 (A)		2022年度 通期 (B)		増減 (B) - (A)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	6,975	641	8,320	338	1,345	△ 303
加工品・関連事業	1,648	11	2,040	22	392	11
(調整額)	△ 793	△ 57	△ 960	△ 50	△ 167	7
合計	7,829	595	9,400	310	1,571	△ 285

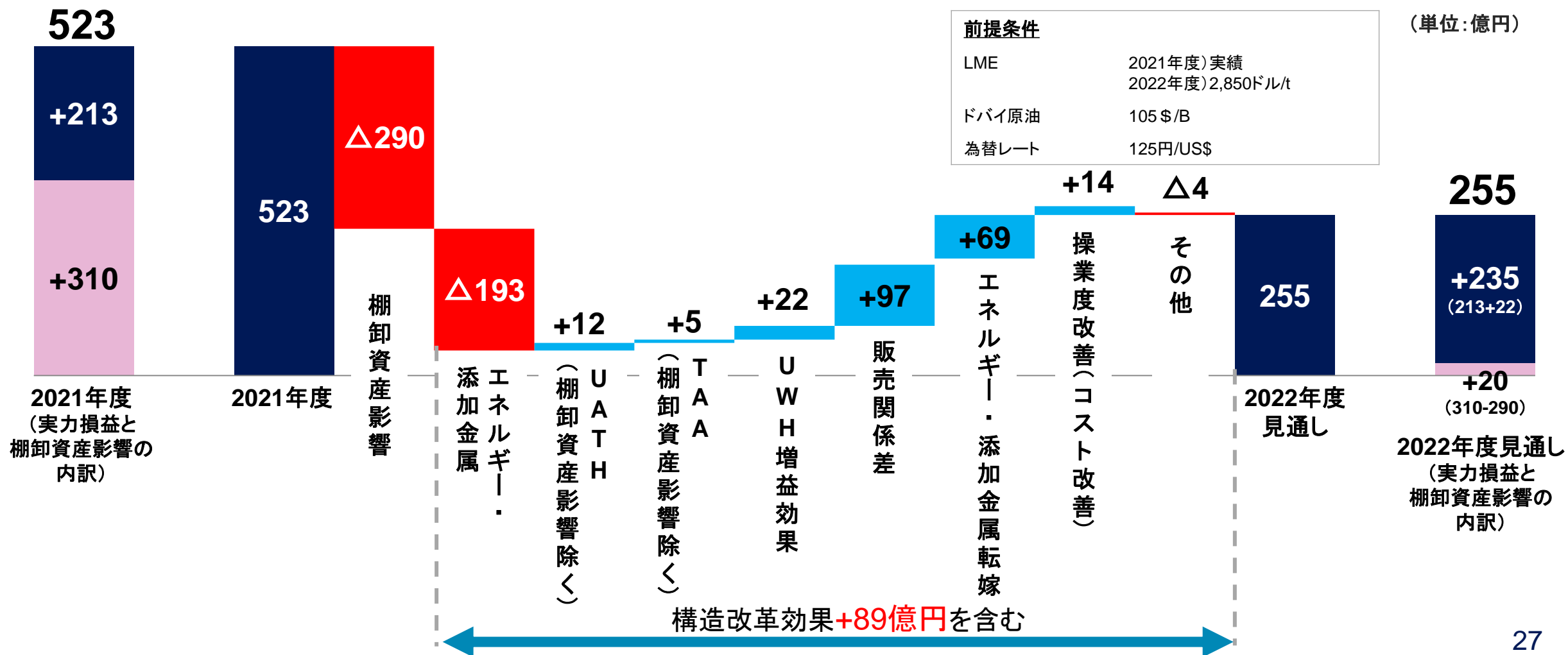
アルミ板 品種別売上数量

(単位:千トン)

品 種	2021年度 通期 (A)	2022年度 通期 (B)	増 減 (B) - (A)
缶 材	816	891	75
箔 地	56	58	2
I T 材	14	18	4
自動車材	138	157	19
厚 板	53	60	7
その他一般材	216	234	18
合 計	1,293 (国内市場向け 479 海外市場向け 815)	1,419 (国内市場向け 541 海外市場向け 878)	126 (国内市場向け 63 海外市場向け 63)

連結経常損益分析 (2021年度通期 → 2022年度通期見通し)

523億円 (2021年度通期) → 255億円 (2022年度通期見通し)



設備投資・減価償却費

設備投資額は減価償却費の計上額が上限
気候変動対策等へ一定額を配分し、計画的に進める

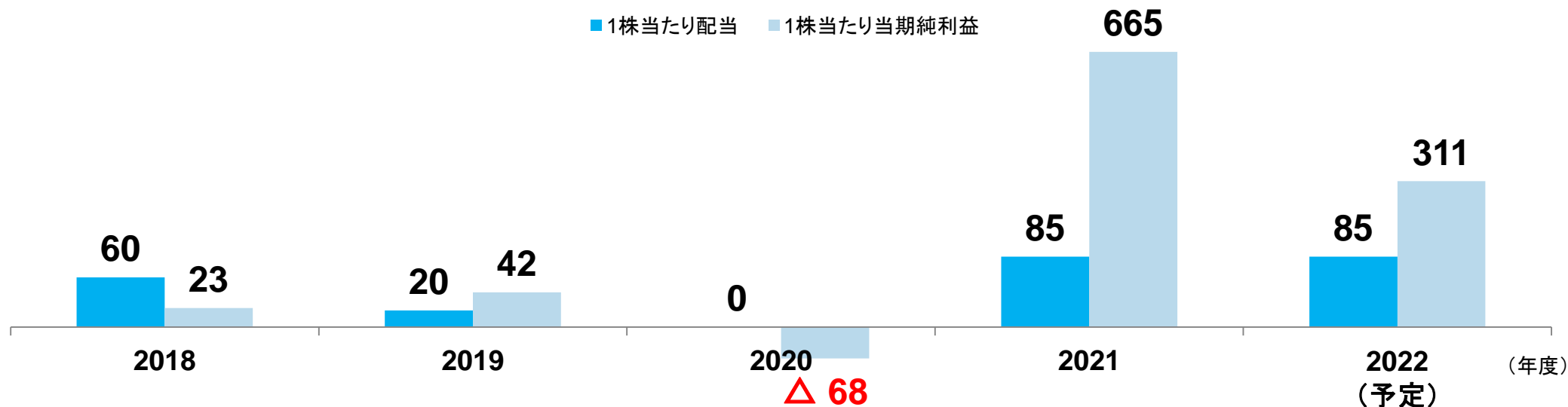
		2021年度 通期	2022年度 見通し
(単位:億円)			
設備投資	一般投資	128	259
	戦略投資	79	64
	合計	207	323
減価償却費		340	347

株主還元

棚卸影響額が大幅減額も、安定継続配当を重視し、1株当たり配当金は85円に据え置く

- 還元方針 : 長期的な総還元性向は30%以上を目標とする
- 配当 : 連結配当性向20~30%を目途に、安定的かつ継続的な配当を目指す
- 株式価値の向上 : 確実な利益・キャッシュフローの確保、資本市場との対話で価値向上を目指す

1株当たり配当 / 1株当たり当期純利益(円)



4. サステナビリティへの取り組み



企業理念とサステナビリティ基本方針

UACJグループ理念

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。



企業理念

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。

目指す姿

アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。

価値観

- ▶ 相互の理解と尊重
- ▶ 誠実さと未来志向
- ▶ 好奇心と挑戦心

サステナビリティ基本方針

「100年後の軽やかな社会のために」

2021年度トピックス

2021年4月	E	気候変動対策推進委員会 発足
4月	E/S/G	国連グローバル・コンパクトへ署名、承認を受ける
5月	E/S/G	マテリアリティの公表、CO2排出削減目標の設定
8月	E	トヨタ自動車 新型「ランドクルーザー」に当社アルミボデーパネル材採用 クローズドループ・リサイクルで環境負荷低減に貢献
8月	E	UATH ラヨン製造所に太陽光屋根置き発電システムを導入
9月	E/S	リサイクル材を活用したSDGsバッチ・キーホルダーを制作
9月	E	TCFD提言へ賛同表明、TCFDコンソーシアムへ参画
9月	S	健康経営宣言策定
10月	S	「パートナーシップ構築宣言」に賛同
11月	E	山一金属株式会社とUBC*加工処理の協業に向けた基本合意書締結
11月	S	「アルミでつくる明るい世界を描くパラリンアートコンテスト」を開催
2022年2月	E	UATHがアルミ缶クローズドループ・リサイクル促進に関する覚書締結
2月	E	TCFDのシナリオ分析結果を公表
2月	E/S	防災用止水板「水用心」の販売本格開始
3月	E/S	福井県及び坂井市と企業の森づくりに関する協定を締結
3月	E/S/G	ASI (Aluminium Stewardship Initiative) の認証を取得
3月	S	「UACJグループ人権基本方針」を策定



「アルミが作るわくわくする未来」-田尻はじめ氏
:「アルミでつくる明るい世界」がテーマのアートコンテスト グランプリ作品
(一般社団法人 障がい者自立推進機構 主催)



UACJグループの各拠点からリサイクル材を回収して制作したSDGsバッチ・キーホルダー。
UACJ鍛造、UACJ金属加工、UACJ Foundry & Forging (Vietnam)、UACJグリーンネットが協働で企画・設計・制作・配送に携わる。

*UBC 使用済み飲料缶。Used Beverage Can

気候変動対策推進委員会の発足と活動状況

気候変動対策推進委員会直下にWGを立ち上げ、それぞれの重点テーマに沿って活動展開

第1回

委員会発足
気候変動対策をめぐる社内議論実施

第2回

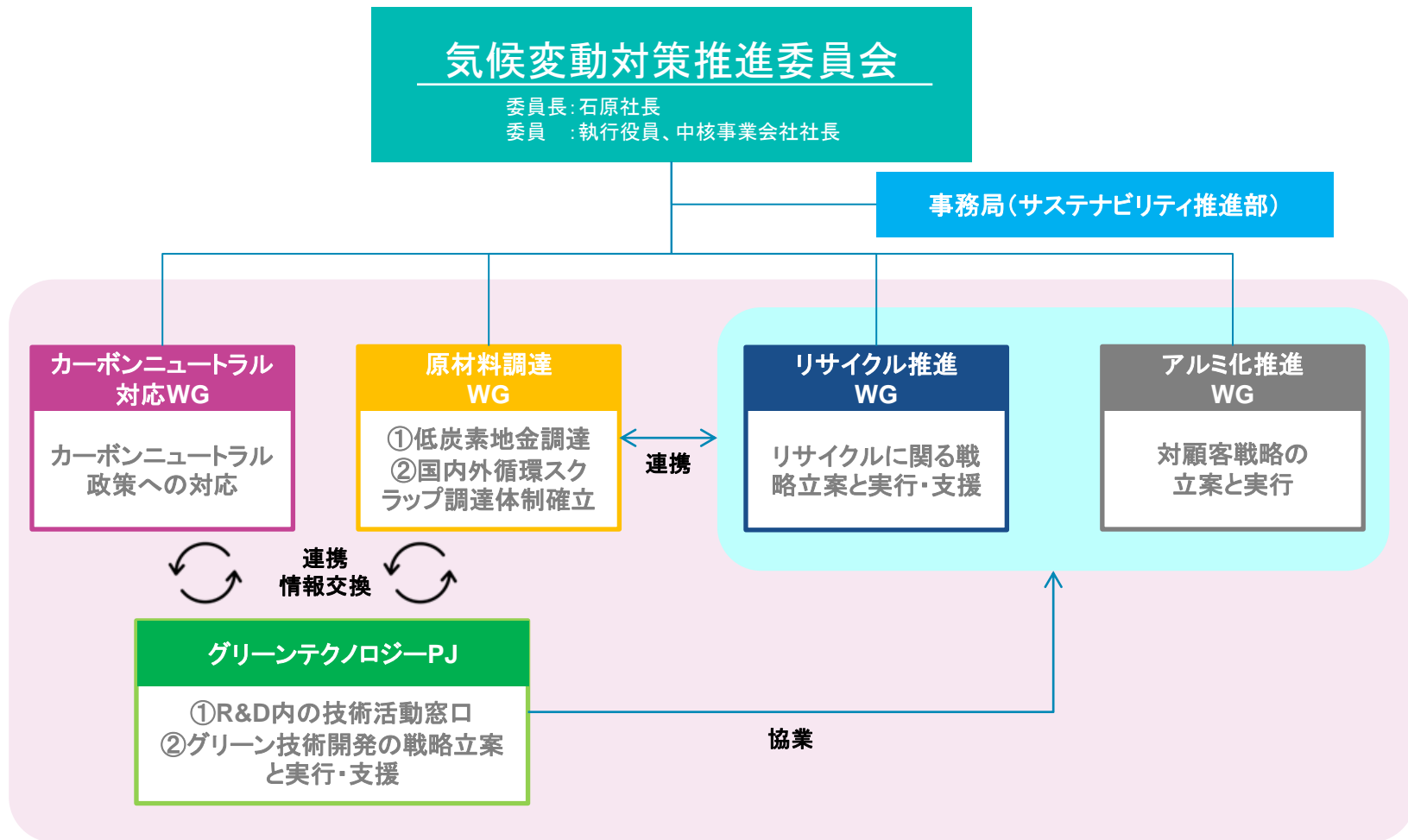
気候変動対策推進に関する基本方針検討

第3回

各ワーキンググループ取り組みの進捗共有

第4回

2021年度取り組みの振り返りと
2022年度活動方針の検討



TCFD提言への賛同と気候変動リスク・機会のシナリオ分析

分析したシナリオに基づいて、今後の環境戦略の立案を進める

2021年9月

TCFD提言 賛同表明 TCFDコンソーシアムへ参画

2021年10月～2022年1月

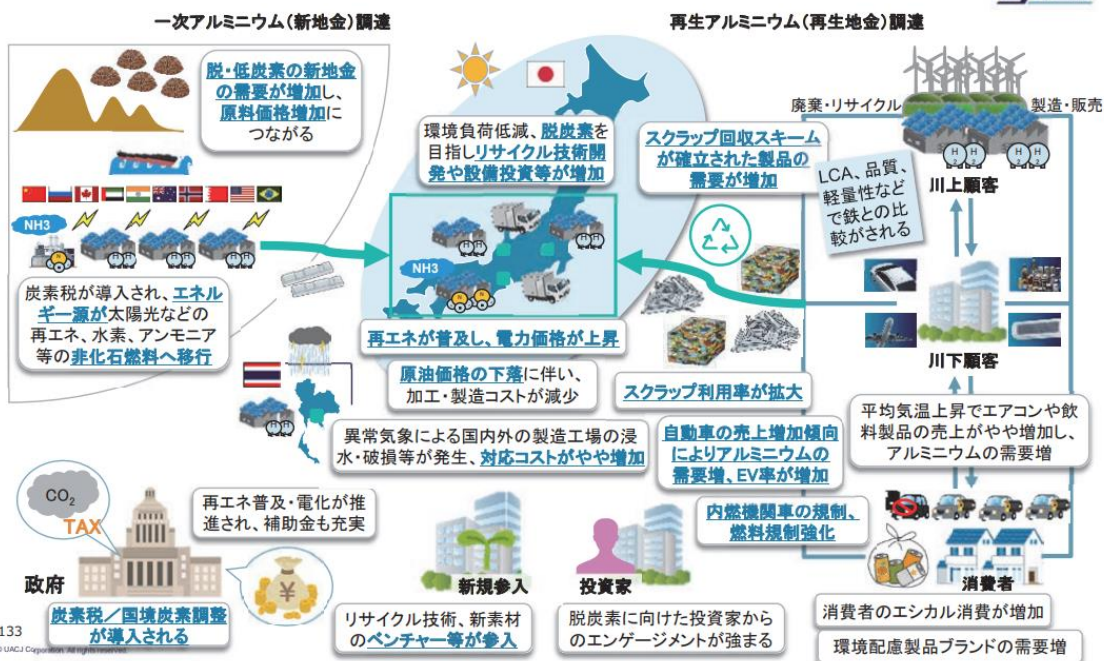
環境省の支援を受けて、気候変動シナリオ分析を実施

3【1.5°Cシナリオの将来社会像イメージ】

再エネ・再生材へのシフト。スクラップ回収スキームの構築と低炭素製品の研究開発が重要となる。

4°C 1.5°C

UACJ



1.5°Cシナリオでは、再生可能エネルギー、リサイクル材活用へのシフトが本格化していくものと分析

アルミニウム製品におけるサーキュラーエコノミーの心臓となるべく

- スクラップ回収スキームの早期構築
- リサイクル技術のさらなる深化を推進する

1.5°Cシナリオの将来社会イメージ*

タイ(UATH) クローズドループリサイクルへの取り組み

ASEAN域内での環境負荷低減をめざし、リサイクル率の向上に主導的に取り組む

ASEAN域内でのクローズドループリサイクルプロセス



Can to Can Journey に関するこれまでの動き



タイ王国環境大臣会見(2020年11月)

覚書「環境配慮した飲料容器のリサイクル促進に向け、政府/環境団体/民間器企業が連携すること」締結



覚書調印式(2021年12月)

「UBC購入、クローズドループ促進に関する覚書」締結

アルミ缶のリサイクル循環の促進を通じ、ASEAN域内での環境負荷の低減をめざす

タイ製缶大手メーカーと協力し、タイ政府・業界関係者を巻き込んだ活動「Can to Can Journey」を展開

ASI認証取得

福井製造所およびUATHの持続可能な事業運営が認められ、日系アルミ圧延メーカーで初となるASI認証を取得

【ASIとは】

- アルミニウム業界における国際的イニシアチブ
- アルミニウム業界におけるサステナビリティに対するパフォーマンス、生産・加工・流通過程のトレーサビリティに関するグローバルな基準作成、審査や認証を実施

asi Aluminium Stewardship Initiative



ASI認証取得

福井製造所



UATH



UWH



UEXCZ*



ASI認定取得を目指す

国際的に認められた
ESG対応企業として

- 顧客の信頼確保
 - ビジネス機会の獲得
- を目指す

IR-Day

2022年6月9日(木) 9:00~12:00

形式 オンライン開催

登壇者 代表取締役社長

取締役副社長

専務執行役員

常務執行役員/CEO,TAA

CEO, UWH

石原 美幸

川島 輝夫

田口 正高

Henry Gordiner

David Cooper

ESG説明会

2022年11月下旬予定

5. ご参考データ



諸元と感応度

	2020年度 (3月末)	2021年度 (3月末)	2022年度想定 (3月末)	経常利益への 感応度
アルミ地金 日経平均 (円/kg)	243	378	447	10円/kg上昇した場合 → +20~30億円/年
LME (米\$)	1,802	2,796	2,850	\$100/t上昇した場合 → +22~35億円/年
為替 (円/米\$)	106	112	125	ほぼ影響なし ・燃料単価、添加金属:円高が有利
為替 (円/タイバーツ)	3.4	3.4	3.4	・ロールマージン、為替換算差:円安が有利
原油 (ドバイ:米\$)	45	78	105	10ドル上昇した場合 → Δ10~15億円/年

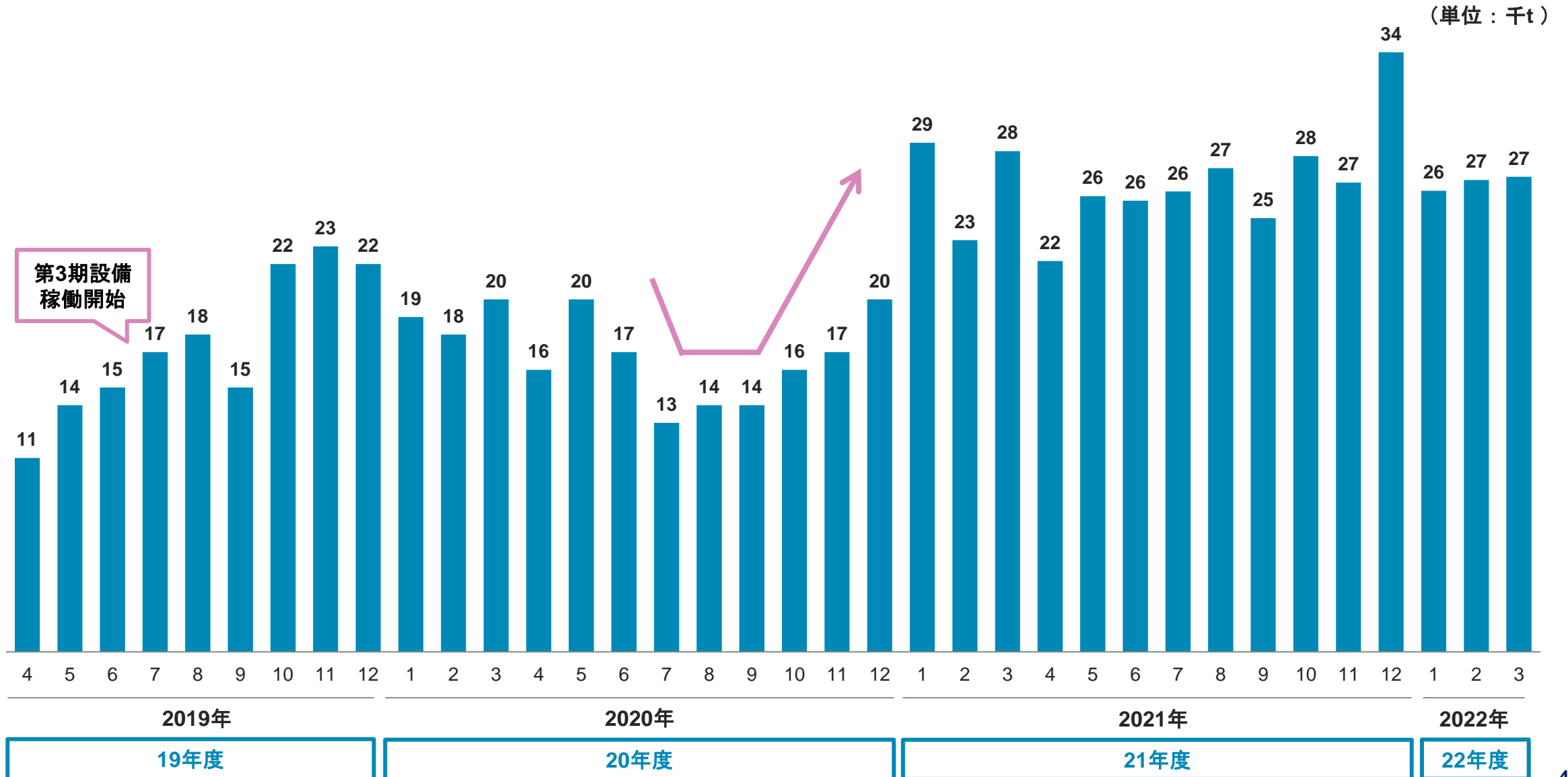
5. ご参考データ

主要指標推移

(単位:億円)

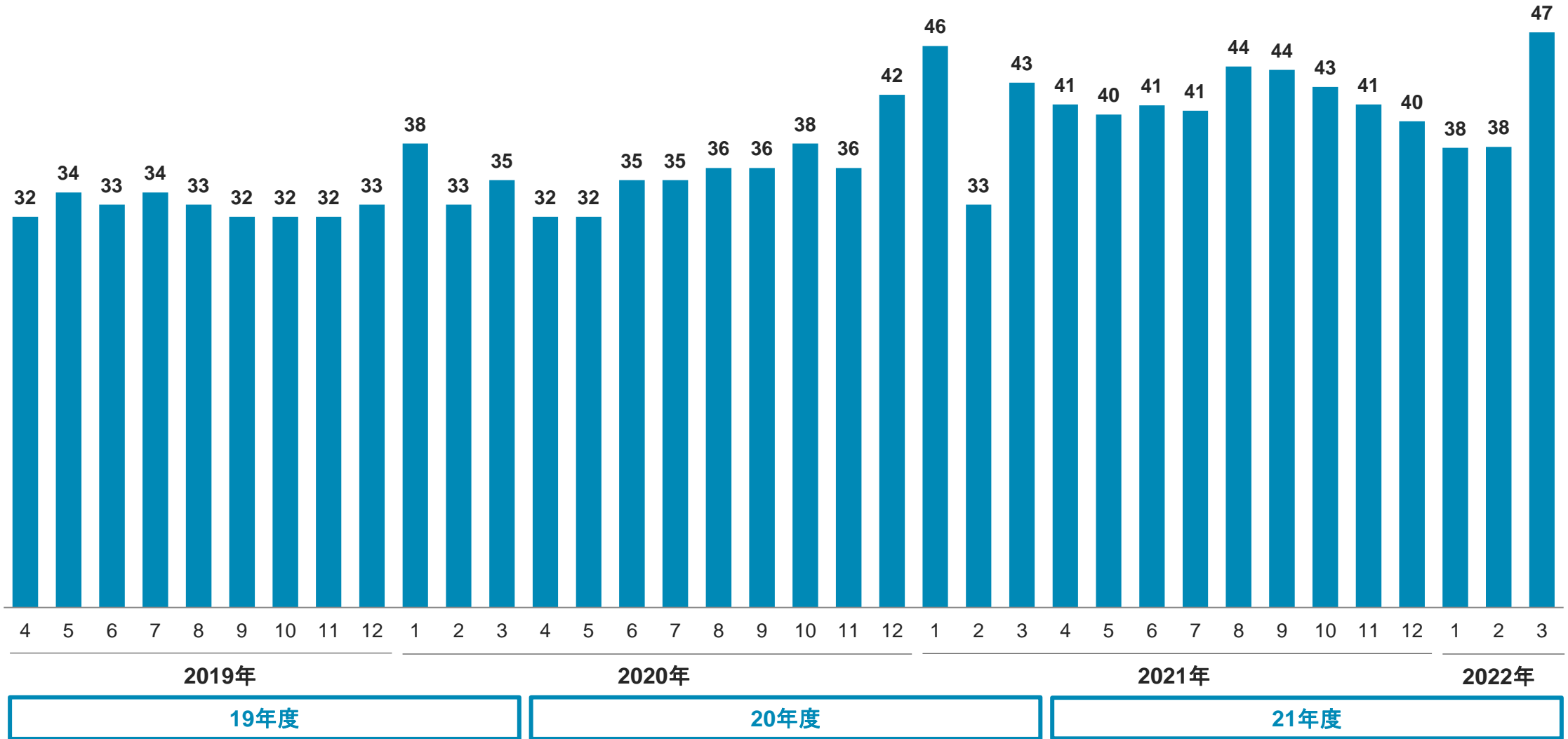
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 1Q(単期)	2021年度 2Q(単期)	2021年度 3Q(単期)	2021年度 4Q(単期)	2021年度	2022年度 見通し	
連結売上高	6,243	6,613	6,152	5,698	1,738	1,912	1,977	2,203	7,829	9,400	
連結営業利益	292	149	101	111	132	167	129	168	595	310	
棚卸資産影響前 連結経常利益	113	30	98	62	51	81	24	57	213	235	
連結経常利益	194	62	38	60	116	142	102	163	523	255	
親会社株主に帰属する 当期純利益	123	11	20	△33	88	85	59	88	321	150	
設備投資	一般投資	147	161	143	109	35	41	24	28	129	259
	戦略投資	365	365	347	72	14	20	19	26	79	64
	合計	215	525	489	181	50	60	44	53	207	323
減価償却費	251	307	312	334	85	84	87	85	340	347	
有利子負債残高	3,423	3,751	3,440	3,358	3,455	3,270	3,381	3,395	3,395	3,300	
R O E (%)	6.5	0.6	1.1	△1.8	4.5	4.2	2.8	3.9	14.1	6.7	
R O I C (%)	5.8	2.3	1.9	2.2	2.5	3.2	2.4	3.1	11.1	5.5	
D / E レ シ オ (倍)	1.50	1.68	1.56	1.56	1.50	1.37	1.39	1.36	1.36	1.30	
営業キャッシュフロー	174	107	581	386	△57	125	36	78	78	-	
投資キャッシュフロー	△519	△349	△300	△210	△62	△109	△154	△210	△210	-	
フリーキャッシュフロー	△345	△243	281	177	△120	17	△118	△132	△132	-	

UATH 月次販売量推移

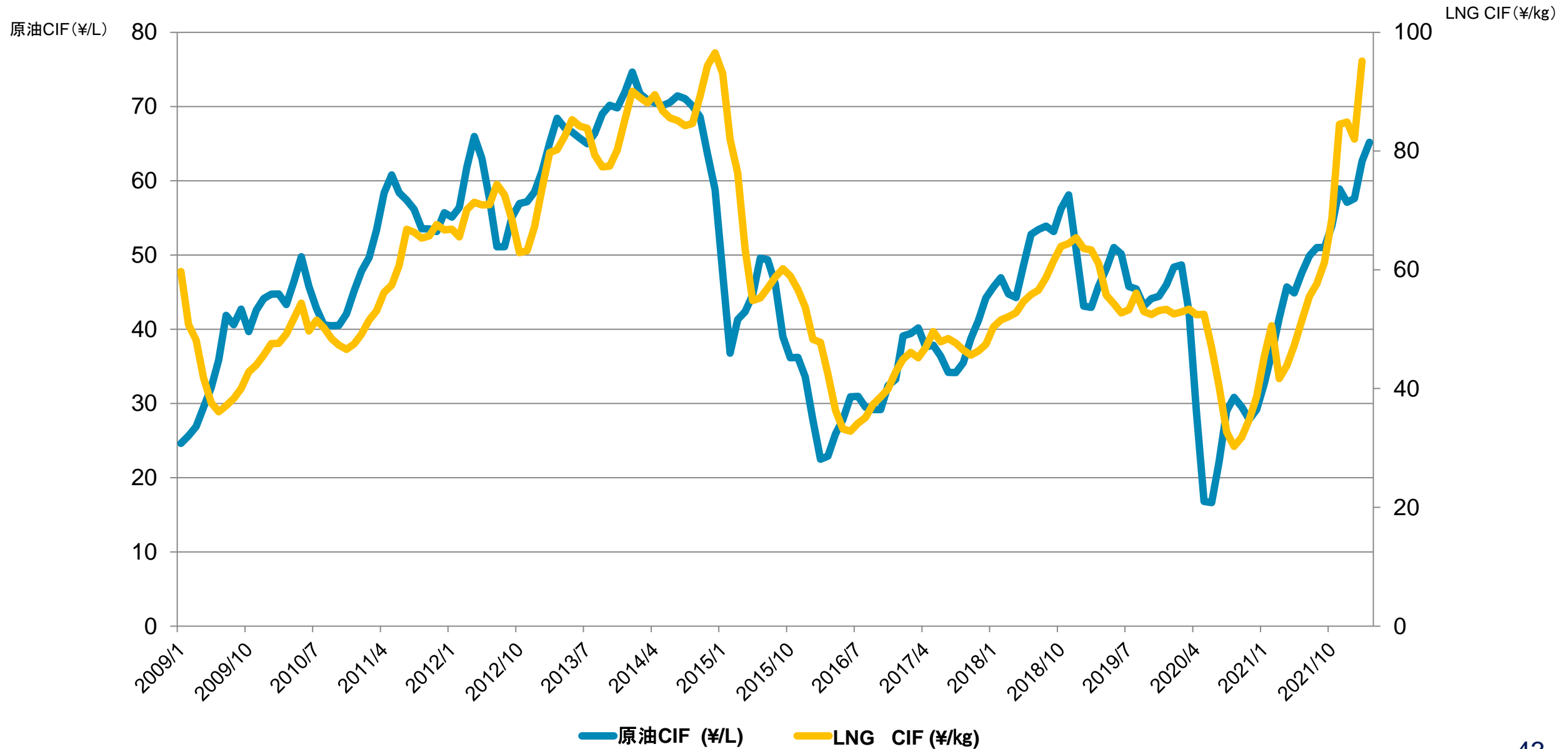


TAA 月次販売量推移

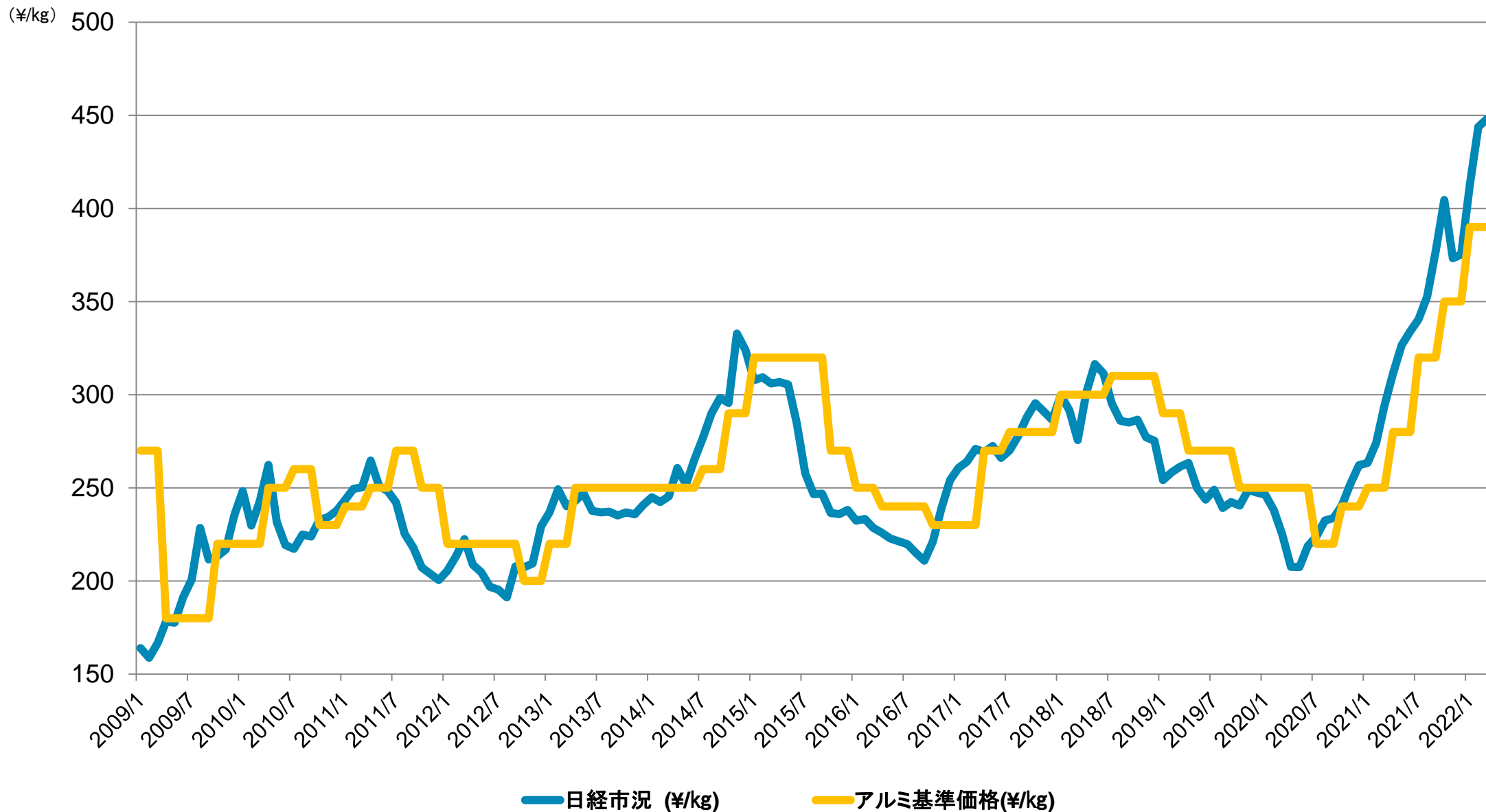
(単位：千t)



燃料単価推移



アルミ地金日経平均・アルミ基準地金



棚卸資産影響

アルミ圧延事業における棚卸資産影響

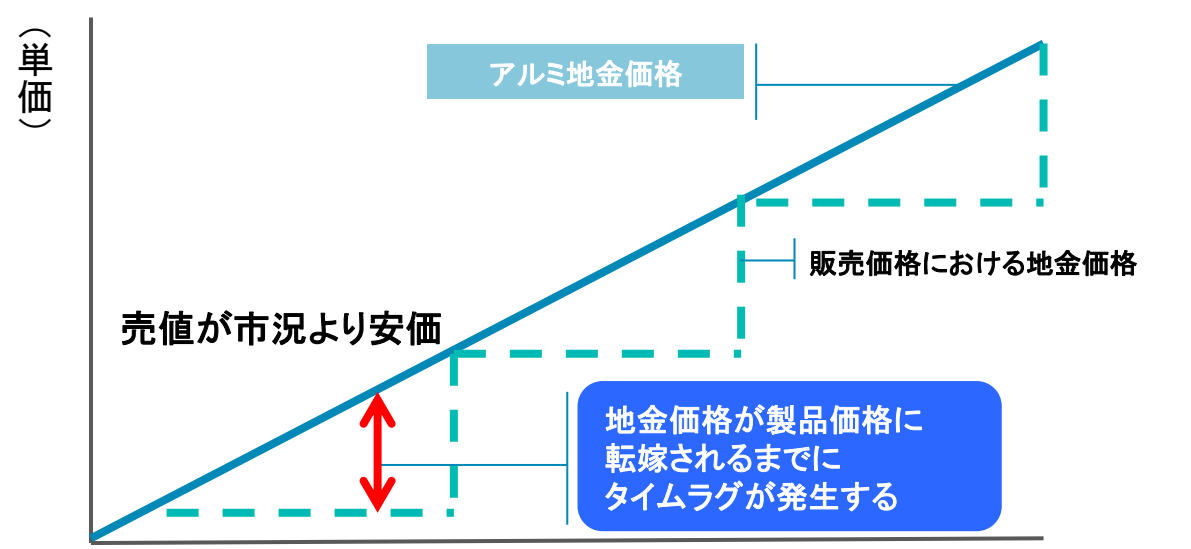
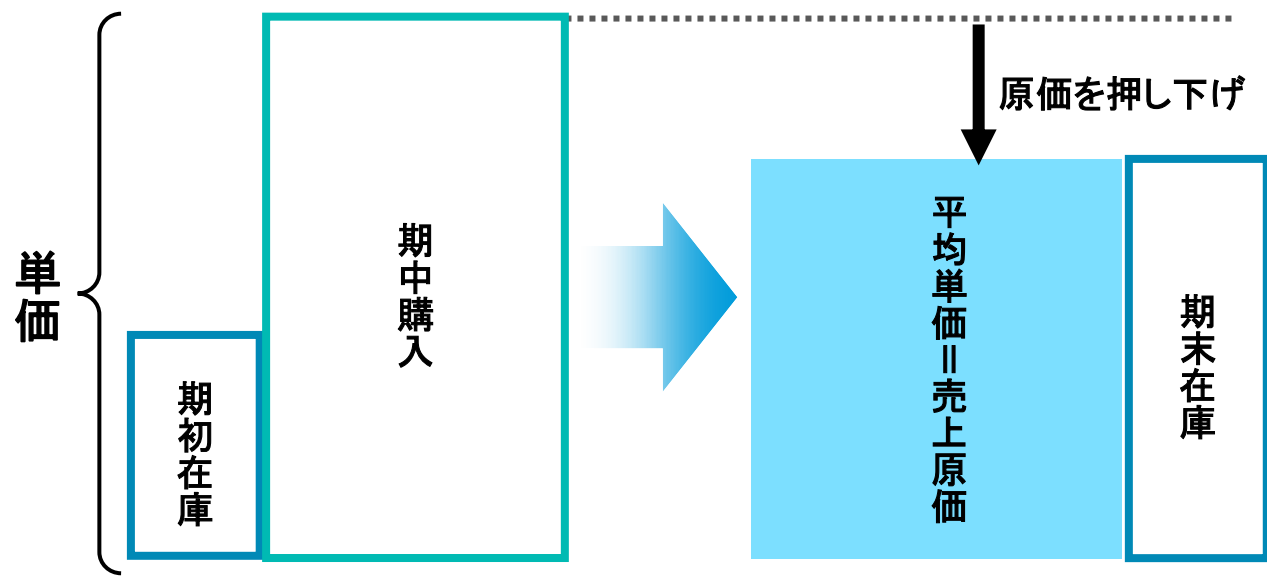
- ① 平均法による材料費計算
期首在庫と期中購入アルミ地金の加重平均で、材料費を計算(期首在庫が影響)
- ② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差

①+ ②= 棚卸資産影響

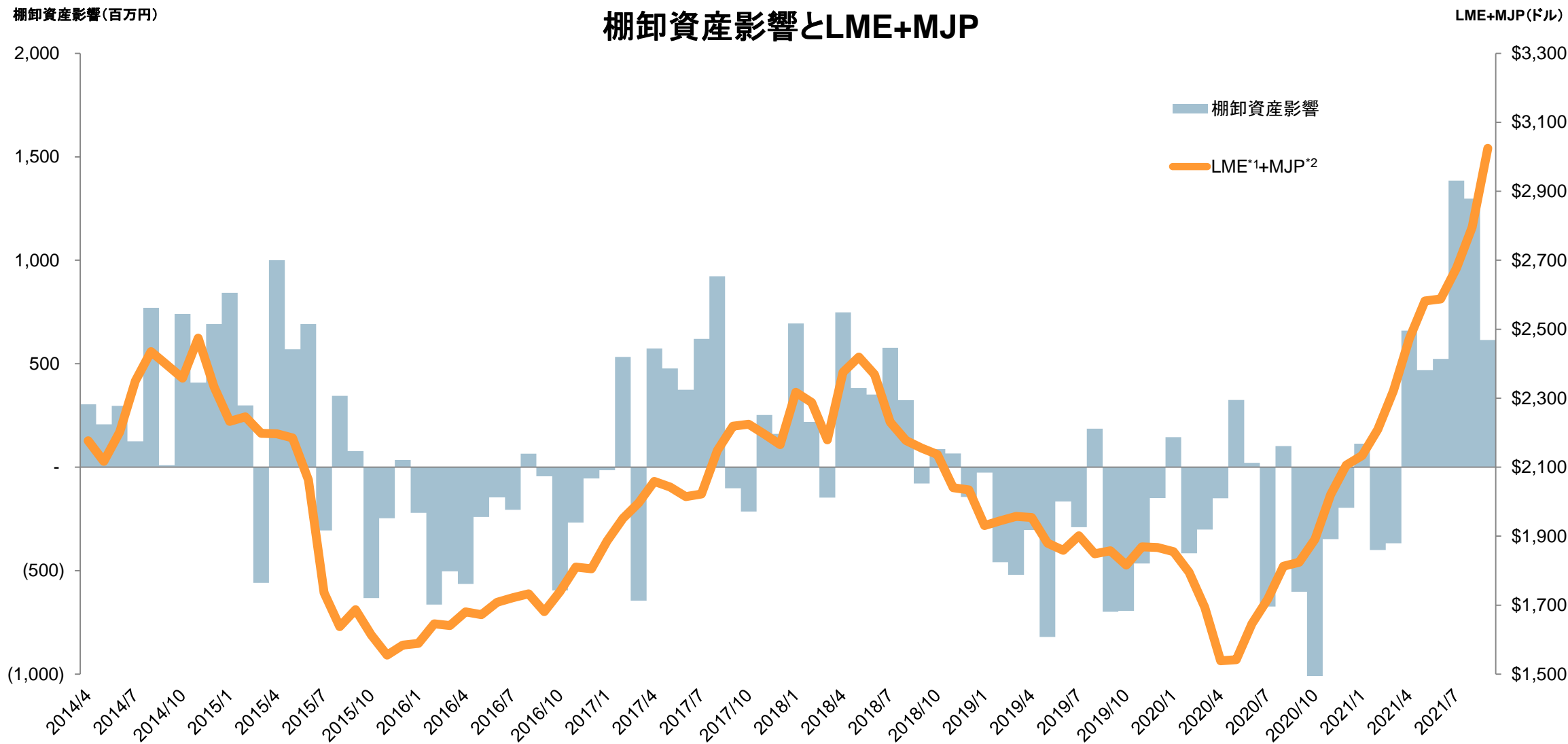
【2021年度:アルミ地金価格上昇】

① 平均法による材料費計算

② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差



棚卸資産影響と地金価格相場の関係性



*1 LME ロンドン金属取引所(London Metal Exchange)に上場しているコモディティ
 *2 MJP 対日アルミ新地金プレミアム

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。

また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料並びにIR関係のお問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

財務本部 IR部 TEL : 03-6202-3603 FAX : 03-6202-2023
URL : <http://www.uacj.co.jp>
(東証プライム 証券コード : 5741)



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界